



学校だより

令和3年2月9日 上田市立第二中学校 No.11

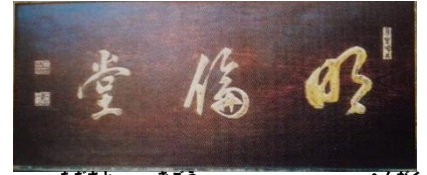
二中の原点 明倫堂学則 ～年始めの校長講話より～

新年を迎えるに当たり、校長先生から「明倫堂学則」についてお話をいただきました。

第二中学校の礎となる上田藩文武学校は、1813年（文化10年）「明倫堂」の扁額を掲げて開校します。藩主松平忠優（ただます）公から頭取（現在の校長）に任命された山田司馬助（しばのすけ）先生は、「明倫堂」で学ぶ心構えを、2年をかけ「明倫堂学則」として書き上げられました。

そこには、以下のような心構えが示されています。

**涵養（かんよう）・・・敬を主とし、以てその本を立て
致知（ちち）・・・理を窮めて、以てその知ることを致して
力行（りきぎょう）・・・躬に返って、以てその実を踐む**



ただま ぎこう へんがく
藩主 忠学侯が揮毫した「明倫堂」の扁額

その後、昭和52年に「涵養」は「敬愛」へ、「致知」は「窮理」へ、「力行」は「実践」へと言葉をわかりやすく変えて、上田第二中学校の学校教育目標となって今の私たちを引き継がれています。

○「涵養」～「敬愛」の姿～

人間は誰もが、「良い心」をもっていますが、ゆれ動く感情の中でそれを素直に表せず、隠れてしまうこともあります。司馬助先生は、「隠れてしまうのがわかるのは自分だけ。だから自分自身が常に自分の心を見つめ、恥ずかしくない行動をとろうと戒めることが大切」と示し、これを「独りを慎む」という言葉で表しています。『「良い心」とは、「相手を敬う心」であり、何をすれば相手が喜ぶだろうかと想像し、その行動を生活の中で行なおうと心がける、この心がけが『涵養』の心を育てることになる』と示されます。私たちは今、この言葉を「敬愛」に変えて、相手を大切に思う心を大事にしています。

二中伝統の「相手がお辞儀し終えたのを見届けてから、返礼をすること」、これも「私はあなたを大切に思っています」という相手を敬う心を具体的な姿で表した二中らしい姿だと感心しています。

○「致知」～「窮理」の姿～

司馬助先生は「全ての人や物はこの世に存在する『意味』と『働き』がある。その働きを徹底的に追究し、調べることで、その意味が分かり、それを活かす方向がはっきりしてくる」と示されます。

昨年二中祭で、「コロナ禍の上田地域の現状と私たちにできること」をテーマに、生徒会が中心になってパネルディスカッションをしました。自分たちにもできることがあるのではという発見から、「商業」「福祉」「生活」の三視点から課題を調査し、まとめ、話し合い、具体的な行動を考え合いました。私たちの生活を大きく変化した新型コロナウイルスが私たちの生活にいったいどんな働きを及ぼしたのかを徹底的に調べ、その中で自分たちはどういう生活を求めたらよいのかを追究しました。この姿が「窮理」の姿と思います。

○「力行」～「実践」の姿～

司馬助先生は「自分では大切だと知っていても、行動できなければ、何のために学んだのか意味がない。自分が置かれている立場で、なすべきことを考えて行動することが重要だ」と示されています。

二中祭が終わってから、3年生の皆さんの総合的な学習の時間は、「私たちができること」をさらに追究してくれました。人とのつながりを阻む働きをもつ新型コロナは人と人とのつながりを断つ課題があります。その課題に思いを伝える絵手紙で解決が図れないかという考えが生まれ、修学旅行で体験した立岩和紙を使って絵手紙を作成した学級がありました。また、人の心を和ませるために咲かせた生花が、コロナ禍のため人の目を楽しませることもなく散っていく課題を知った学級では、フラワーアートにして地域の人々の心に優しさを伝えました。窮理から得た自分たちに今できる行動をする、それが「実践」のあり方だと思います。

皆さんと共に、この地で脈々と受け継がれてきた「明倫堂学則」の心得を今年も実践していきたいと思い、お話をいただきました。今年もがんばりましょう。

「二中に何を残して卒業するか」 ～3年生の学年集会の取組から～



学年集会で決意を新たにした3年生

二中での学校生活があと2ヶ月足らなくなった3年生が、学年集会で「二中に残す姿」について話し合っていました。

「私たちが二中を去るとき、このまま卒業してはいけない気がします」「過去の先輩も大切にしてきた姿があります」「3年生である私たちが、これぞと思う姿を残していきたいです」といった思いが語られていました。

話し合いの最後に3年生がお互いに確認し合ったのは、「後輩の記憶に残る豊かな合唱」「全員が無意識に靴をそろえられること」「目を見て、明るく、笑顔で挨拶できること」「時間いっぱい、そして最後までやりきる清掃」という姿でした。3年生は、自分たちが納得できる姿を二中に残して卒業するために、残りの日々を大切に送っていきたくと決意を新たにしていました。

「どのように二中を受け継ぐか」 ～2年生の学年生徒会の取組から～

2年生は、後期の生徒会活動目標「egg～変化に対応しつつ伝統を継承し、本質を明確に～」を受け継ぎました。そして、3年生がコロナ禍においても、生徒会を中心として自分たちに何ができるか考え、地域に根ざした活動を行ったことを自分たちも大切にしよう、地域とどのようにかかわっていくことができるのか話し合っています。また、各委員会では3年生が活動してきたことを大切に引き継ごうと活動目標を決め、具体的な活動について話し合いを進めています。

これから二中の顔として、2年生がどのように二中を受け継ぎ、新たな二中を創りあげていくのか、期待しています。



活発に意見が飛び交う二中学生

「新入生に二中を伝えよう」～「二中紹介DVD」を作成した1年生～



真剣に二中の姿を伝える一年生(DVDより)

1月25日(月)には、小学校6年生の皆さんと保護者の皆様をお招きして、中学校説明会を実施する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの警戒レベルを考慮し、当日は6年生の保護者の皆様のみでの参加にて説明会を実施させていただきました。

そこで、招待できなかった6年生の皆さんに二中の姿を知ってもらおうと、学年合唱や応援の様子、さらに委員会や部活動などの劇を収録した「二中紹介DVD」を各小学校へお渡ししました。

1年生は、何を伝えたいのかじっくり考え、台詞の内容にこだわり、納得いかなければ「もう1回お願いします!」と繰り返し撮影していました。真剣な姿あり、笑いありの1年生らしい内容になりました。1年生にとっても、これから先輩となる思いを高めるよき場面となりました。

「シトラスリボンをつくろう」

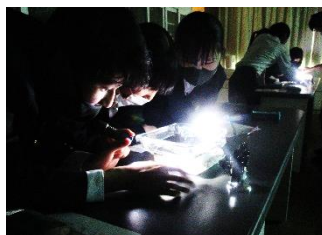
～2年生：コロナ禍でも優しい社会のために～



「振り返りから」
2学年でシトラスリボンをつくりました。新型コロナウイルスに感染した人にも医療関係でがんばっている人にも、優しい社会になってくれることを願って丁寧に作りました。

「放射能について、詳しく学ぶ」

～3年生：オンラインでの授業から～



「振り返りから」
高島勇二先生から、放射線について学びました。実験で放射線が見えて、とても驚きました。どのように放射線を社会で利用するか考えさせられました。

※高島勇二先生：全国中学校理科教育会支援センター所属

学校自己評価アンケート結果から

保護者の皆様におかれましては、学校自己評価アンケートにご回答いただき、誠にありがとうございました。頂きましたご意見ご要望については学校にて協議し、生徒の皆さんがよりよい学校生活を送れるよう工夫や改善を図ってまいります。

ご意見ご要望がありました点については、以下のように取り組んで参ります。

- ① 「保護者のお迎えの基準が延長部活と放課後学習でなぜ違うのか」というご意見がありました。延長部活については保護者の方のお迎えを条件に活動を許可していますが、放課後学習についても安全確保のためできるだけお迎えをお願いします。
- ② 「学校で使用する上はきが国分のスター商会で買わなければならない、学区の近くで買えるとありがたい」というご要望がありました。高橋履物店(上田市常田)でも取り扱っておりますので、ご承知おきください。
- ③ 「体育館の雨漏りはもう直らないのか」というご要望がありました。雨漏りについては、春休み中に業者が工事に入る予定になっております。

☆☆△▲今後の予定○●□■

2月10日(水) 1・2・3年3学期期末テスト①
11日(木) 建国記念の日
12日(金) 1・2年3学期期末テスト②
15日(月) 学年費引落日
16日(火) 公立前期選抜合格者発表
18日(木) 地区生徒会
22日(月) 公立後期志願受付～25日(木)
23日(火) 天皇誕生日
26日(金) 志望変更～3月3日(水)

3月 5日(金) 3年二中間窓会入学式
9日(火) 公立後期選抜試験①
1・2年クラスマッチ
10日(水) 公立後期選抜試験②
13日(土) 地区活動優先日(ノー部活デー)
15日(月) 3年生を送る会
16日(火) 3学期終業式
17日(水) 卒業証書授与式
18日(木) 年度末休業
19日(金) 公立後期選抜合格発表
26日(金) 1・2年登校日